

# Alteryx社内展開のフイー ドノバック

東洋エンジニアリング株式会社

DXエンジニアリング部

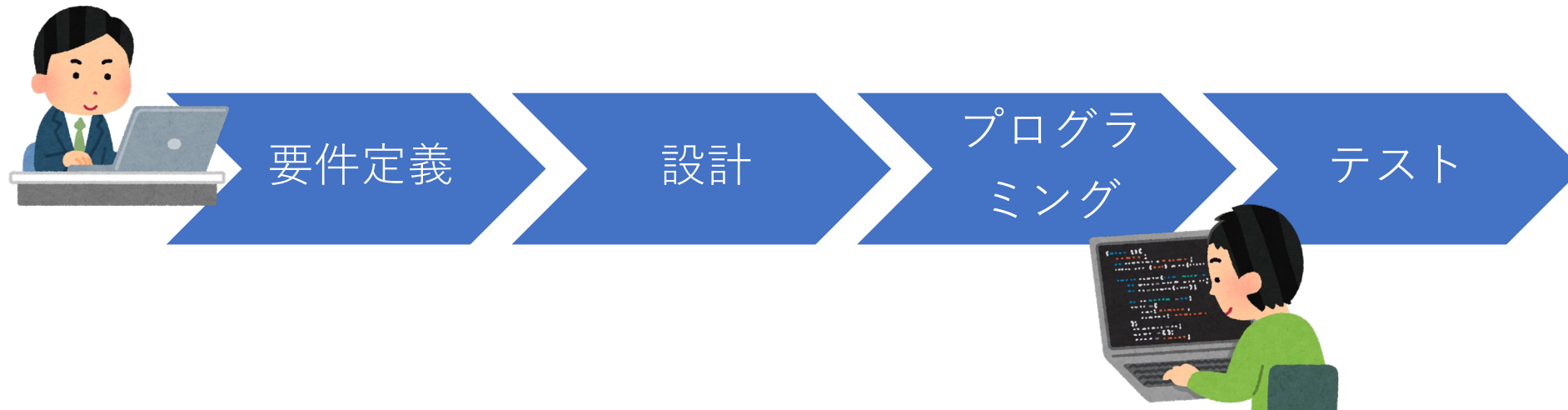
時松 基

# Alteryxをすすめる理由

- プログラムができない業務担当者でも自分でデータ処理のワークフローを作れる
  - 処理の流れがワークフローになっていて理解しやすい
  - ステップごとに入力と出力を確認できて処理を追いやすい
  - EXCELやACCESSと比較して処理速度が速い
- 業務データと業務ロジックをわかっている業務担当者が、データを処理できるとDXが捗る

# DXが捗る理由

- システム開発において、コミュニケーションは非常に重要
  - 期待した動作をしなかったとき、要件とプログラムを相互に理解できると話が早い。
- 要件を素早く実現でき、変化にも柔軟に対応できる = BIやAIに必要なデータを迅速に用意できる



# Alteryxが即採用されない理由

- プログラムよりは習得が容易だが、誰もがすぐ使えるというわけでもない
  - Alteryxを使える担当を探す
- 便利そうだが自分の業務にどう役立つかイメージできない
  - 共感を得られる課題を用意する
- 気軽に試せる価格ではない
  - じっくり試せる環境を用意する
  - 費用に見合う価値を認めてもらう

# Alteryxを広める際のポイント

- Alteryxを使える担当を探す
- 共感を得られる課題を用意する
- じっくり試せる環境を用意する
- 費用見合う価値を認めてもらう
- 仲間を増やす

# Alteryxを使える担当を探す

- 成果報告や勉強会などで認知度を上げ、相手から声をかけてもらう
- 社内勉強会などですでにAlteryxを学び始めた人はそのまま支援していく
- データに対するセンスがあると理解が早い
  - EXCEL、ACCESSを駆使し、限界を感じた人
  - SQLの経験が少しでもある人(かじった程度でOK)
- プログラム経験者は反応が悪いこともある
  - プログラムのできるので新しいツールはいらない？
  - プログラムに比べ制約が多い？(LOOPが組みにくい、変数を使いにくい、など)

# 共感を得られる題材を用意する

- 部署ごとに事前準備が必要
  - できるだけ相手の仕事に直結した題材にする、そうでないと響きにくい
- 初心者にも理解できる、頑張れば作れそうなワークフロー
  - 難しすぎると「workflow=自分ではない誰かが作るもの」になる
  - 細かいところは相手に任せてコアな部分だけ作成する
- 担当者の裁量の範囲内で便利になることを目指す

# 題材の例

- 設計の機器データの整形
- 複数の施工業者からの情報の取りまとめ
- ベンダーからの設計データの取り込み
- 人事の予算作成
- 経理の未処理データのリストアップ
- 現場の安全管理情報の集計



# 費用を認めてもらおう

- 省力化による工数削減
- 他のツールの導入費用や開発コストとの比較
- 学習コスト

# 仲間を増やす

- まずは同じ部署に
- ユーザー会やAlteryxコミュニティで社外に
- 社内コミュニティで盛り上げる
  - Teamsを活用して努力中、まだまだこれから

# 展開シナリオ

- 自部門で実績を積み上げ
- 実績を持って社内でAlteryxを紹介
- 興味を持った人・部門から問い合わせ
- Alteryxによる課題解決
  - 課題の選定
  - 難しい箇所をエキスパートが解決
  - 担当者がワークフローを発展修正
- 担当者による部内説明会
- 予算化

ご清聴  
ありがとうございました

